



# スマホトラブル懸念

## 中学校に持ち込み解禁へ

文部科学省が通知で原則禁止としてきた中学校へのスマートフォンなどの持ち込みを解禁する方針を打ち出したことに対し、道内の保護者や学校関係者から、紛失やインターネット上のトラブルの増加など新たな問題の発生を懸念する声が上がっている。文科省は生徒も関与したルールづくりを求めており、専門家は「子ども自身が守ろうと思えるルールづくりが重要だ」と指摘している。

(鹿内朗代、田鍋里奈)

「時代の変化を考えれば、妥当なのかもしれないが、紛失などの問題はすぐに起きそう。登下校の安全のためだけに、今のままでも良いのでは」。中3、小6、小1の3人の息子を育てる札幌市の女性(41)はこう述べつつ、「子どもにはまだスマホを持たせていないが、『周りは皆持っている』と言われたら、悩むかも」と打ち明けた。

文科省が2009年に原則禁止とした中学校へのスマホ持ち込みの解禁を検討し始めたのは、登校中の児童らが死亡した18年の大阪府北部地震などを受け、子どもの安全確認に必要だとする保護者の声が相次いだことがきっかけだ。

今年24日には①管理方法や紛失時などの責任の所在を明確化②フィルタリング(閲覧制限)を設定③正しい使い方を指導④の条件付きで持ち込みを認めるとし

## 専門家「ルールづくりを」

た素案を示し、7月中にも全国の教育委員会などに通知するとした。

素案では校内使用は禁止し、登校時に学校に預けることなども要請したが、持ち込みが解禁されればスマホを保有する中学生が増えることも想定され、中2の長女がいる札幌市の女性(38)は「会員制交流サイト(SNS)で仲間はずれにされるなど人間関係の問題が増えそう」と心配する。ただ、文科省の通知には強制力はなく、私立を中心にスマホの持ち込みを認め、授業で活用するなどの先行事例は珍しくない。

江別市の立命館慶祥中は昨年4月、校内にインターネットの無線LANを整備し、調べ物など一部の授業でスマホを活用し始めた。授業以外の時間帯は個人の鍵付きロッカーに保管するのがルールで、担当者は生徒もルールを守れている。

登下校中にゲームで遊んだりしている生徒がいたら『そういう目的で持参を認めているのではない』と指導している」と強調する。

札幌聖心女子学院中も生徒のスマホ持参を認め、校内では教員が預かっている。3年の原田安珠さん(15)は「先生が預かるので安心。大人が管理した方が良い」と話す。家でもスマホを使えるのはリビングに限って午後9時までと、家族で話し合ったルールがあり、母の由香さん(49)は「子どものプライバシーを守りながら、あくまでも保護者が責任を持って管理すべきだ」と考えた。

ネット監視サービスなどを行っているピットクルー(東京の広田周平さん(37))は、スマホは位置情報の活用など子どもの安全確認には有効だが、生徒の利用が増えれば不適切な個人情報公開や嫌がらせなども増える」と指摘。「一定のルールは必要だが、大人が押し付けるのではなく、子ども自身がルールの意味を考え、自発的に正しい使い方をしていく土壌をつくる必要がある」と呼び掛けている。

2020年6月28日(日) 朝刊 全道遅版 社会 26P (記事は再編集しています)

①この記事の内容として最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

- ア 全ての中学校では、これまでスマートフォンの持ち込みを禁止していた。
- イ 文部科学省は中学校へのスマートフォンの持ち込みを条件付きで認めた。
- ウ 中学生はこれから校内でスマートフォンを自由に使用することができる。
- エ スマートフォンを授業でも使用するため持ち込むことが必要になる。

②中学校でスマートフォンの持ち込みが認められたときに、生徒がルールを作ることになりました。記事の内容を踏まえてルールを作るとしたら、どのようなルールが考えられますか。